

目次

- 2 目次
- 3 国見町合併60周年
- 6 新庁舎落成式
- 7 桜の聖母短期大学食育推進プロジェクト
- 8 くにみしゅらん
- 9 町からのお知らせ
- 12 笑顔のひろば
- 14 復興のあしおと
- 15 まちのサークル（エージェットスパームーン）
- 16 小さな天才たち（県北中学校1年生）
- 18 まちのわだい
- 18 保健だより
- 20 からの情報
- 22 生涯学習つうしん
- 24 カレンダー



5月17日に国見小学校大運動会が行われました。快晴の青空の下、白熱した戦いが繰り広げられました。

～今月の表紙～



『国見のたからもの』
No.13

満開に咲き誇った深山神社の大藤（所在地：国見町大字鳥取字深山地内）

深山神社境内の大榎とともに町の天然記念物に指定されている大藤は、4本の木からなり、樹齢は300年以上とも言われています。樹齢500年（推定）の大榎全体に巻き付いた大藤が咲かせる気品に満ちた花と香りは、毎年多くの人々を魅了します。

【問い合わせ：歴史まちづくり推進室 ☎585-2967】

国見町合併60周年

合併60周年 によせて



国見町は、昭和29年3月31日に1町4ヶ村の合併により誕生しました。この間、町民の皆様をはじめ、町議会、関係各位の献身的なご努力により、今日の国見町を迎えることができました。

国見町の60年の歴史を振り返りますと、昭和50年に東北自動車道国見インターチェンジが開設され、昭和59年には徳江大橋の開通、平成8年には公共下水道の一部供用開始、平成19年には摺上川ダムからの本格受水開始など、生活環境は大きく前進しました。さらに平成元年には、奥州合戦

800年を記念する事業が開催され、国見町における「歴史を活かしたまちづくり」の第一歩となったところであります。本年2月には、国より「歴史まちづくり計画」の認定を受け、新たなまちづくりを進めるとともに、古くから伝えられてきた歴史的風致を大切に守りながら、特色あるまちづくりを進めることとしております。そして平成24年の国見小学校への統合を皮切りに、幼小中一貫教育の取り組みも始まったところであります。このような中、平成23年3月に東日本大震災が発生し、国見町でも大きな被害を受けましたが、「復興・絆・国見の未来をみんなでつくる」ことを念頭に、大震災からの復旧復興を進めており、特に原発事故に伴う除染対策、健康管理対策、風評被害対策などを進めるとともに、国・

県をはじめ、関係機関の方々のご理解とご協力によ

り、60周年の大きな節目に役場庁舎を再建することができました。また、平成28年度の開業を目指して、復興のシンボルとしての「道の駅を核とした交流施設の整備」を進めています。合併60周年を機に今後とも「原点回帰」の精神で、地方創生の流れにも対応しながら、さらに飛躍を図るため全力で取り組んでまいります。

結びに、皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げますとともに、国見町の更なる維持発展に引き続き、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、ごあいさついたします。

国見町長 太田 久雄

5月9日に行われた記念式典でのあいさつです。

